

2013年4月

**「宇宙を教育に利用するためのワークショップ」
(SEEC2013)
参加報告書**

**学校法人武蔵野学院 武蔵野短期大学附属幼稚園
森田 直子**

※所属は2013年3月31日時点

目次

1. スケジュール ……P. 3
2. 自身の発表内容に関する所見 ……P. 4
3. 訪問した学校および参加したセッションやJSCツアーについて、それぞれに関する感想および教育現場への活用などに関する所見 ……P. 4
4. SEECに参加した他の教育関係者との交流(意見交換、情報提供など)の内容 ……P. 6
5. SEEC参加によって得られた成果および今後の活用方針 ……P. 6

2013年2月7～9日に米国のヒューストンにあるNASA Space Center Houston で開催された Space Exploration Educators Conference (SEEC) 2013に参加したことを以下に報告する。

1. スケジュール

DATE	AM/PM	学校訪問および参加したセッション・ツアー
2/6 (WED)	AM	・Ward Elementary Middle School 校の訪問。 併設の幼稚園(4歳児クラス)で凧作り
	PM	・SEEC 会場で受付
2/7 (THU)	AM	・Airplanes for Preschool and Kindergarten
	PM	・How Big is it? ・Aircraft operation tour
2/8 (FRI)	AM	・Space Launch System
	PM	・Train Like An Astronaut ・What Is Hidden Inside?
2/9 (SAT)	AM	・JAXA セッションで発表 「スチロールペーパーを使って凧をつくろう」
	PM	・ISS Mission -A Challenging Space Endeavour
備 考		

2. 自身の発表内容に関する所見

- ・「スチロールペーパーを使って凧作り」を行ないました。英語での発表に大きな不安があったのと、簡単すぎて楽しんでもらえるかという不安がありましたが、実際は参加して下さった先生方がとても熱心で言葉の壁を感じず、聞き取れなかった言葉は実践でカバーできた。90分の発表時間に対して3人のプレゼンターがいるため、内容はわかりやすく簡単な方が楽しめると感じた。
- ・凧作りに必要な材料(スチロールペーパー)を自分自身で作ることや、入手方法が限られていることもあり、セッションに参加した先生方がご自身の現場でどの程度活用出来るかというところに不安はあるが、全体的には興味をもって取り組んでくれていたので成功したのではないかと思う。

3. 訪問した学校および参加したセッションやJSCツアーについて、それぞれに関する感想および教育現場への活用などに関する所見

- ・現地校訪問は見学の時間があり、施設の説明やテキサス州で決められているカリキュラムなどを丁寧に教えていただけたことがとても有難かった。学校側の都合や、他のスケジュールとの兼ね合いもあるので今回の時間配分で十分だが、個人的にはもう少し見学の時間が欲しかった。また、事前に自分の中で質問を考えていくことが出来ず、後から聞きたかったことが出てきてしまったのである程度質問をまとめていくべきだった。
- ・私が選んだセッションは講義だけでなく体験を取り入れているものを選んだつもりだったが、体験の時間は90分のうち最後の15分位のものが多く、その他はスライドを見ながら話を聞くほうが長かった。所々聞き取れる英語とスライドから必死にイメージを膨らませていたので、講義の趣旨を完全には理解できなかったように思う。しかし、ほとんどの講義が写真などの撮影が許可されていたので、スライドを撮影しておき、帰国してからゆっくり和訳することもできるのでその場は理解できなくても安心だった。
- ・生徒に惑星の大きさや距離感を教えるのに粘土を使ってわかりやすく教える方法、プラスチック皿を使っての飛行機作り、生徒の体力向上のプログラムなどセッションには様々な種類があり、自身の現場でもアレンジを加えれば取り入れられることが多くヒントをたくさんもらった。また、教師側の立ち位置、声の大きさや動作は日本とは微妙に異なり参加している先生方の姿勢も日本の研修会よりも積極的だったことなど講義の内容以外のところも勉強になった。

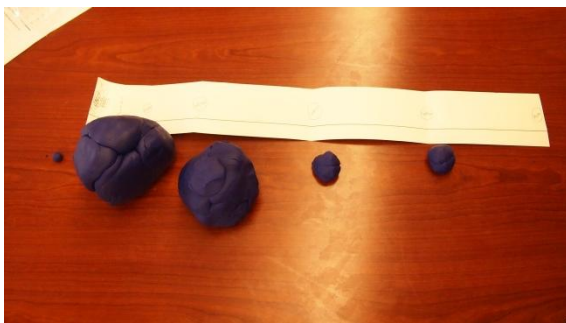


How big is it?

惑星の大きさや距離感を細長い紙と粘土を使って知る講義。

教科書の表で見るよりも立体的で惑星の大きさを感じることが出来た。

テーブルごとでグループになり、粘土を分ける作業をみんなで行うことでチームワーク作りにもなっていた。



Aircraft operation tour

航空機の使用目的や形についてなどを詳しく説明してくれた。この航空機は宇宙飛行士が着陸や通信の訓練をするのに使用している。

参加者は空気抵抗の少ない形の機体についてや訓練によってどのような成果が出るのかなどの質問をしていた。



4. SEECに参加した他の教育関係者との交流(意見交換、情報提供など)の内容

- ・幼稚園、小学校、中学校と参加者の現場が異なっていたためお互いの学校での取り組みを聞くことが出来たのが新鮮だった。自分の現場以外のところで人脈作りが出来たことが良かった。
- ・島根大学の学生も数名参加しており、同じセッションを受けたり、ツアーに参加したりと学生とも交流がもてたのが良かった。

5. SEEC 参加によって得られた成果および今後の活用方針

- ・現地の取り組みを肌で感じられたこと。
- ・英語でのプレゼンテーションができたことが自分の自信に繋がったこと。
- ・発表してきた内容を地域の教育機関で発表し、宇宙教育の取り組みを広げていくこと。

以上